

## 会 議 録

会議名	田名地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 田名まちづくりセンター 電話 042 - 761 - 0056 (直通)		
開催日時	令和3年5月18日(火) 18時00分～19時40分		
開催場所	田名公民館 大会議室		
出席者	委員	18人(別紙のとおり)	
	その他	6人(中央区長、副区長、区政策課長、地域振興課長、区政策課職員)	
	事務局	2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	不可	一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 田名地区まちづくり会議会則の改正について (2) 役員選出 (3) 説明 ・中央区基本計画について ・まちづくり会議について ・地域活性化事業交付金について ・まちづくりを考える懇談会について (4) 今年度のまちづくり会議のテーマと進め方について 4 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言 は区政策課職員)

### 1 開会 (事務局)

### 2 あいさつ

志村会長あいさつ

田野倉区長あいさつ

### 3 議題

#### (1) 田名地区まちづくり会議会則の改正について

会則の改正理由等について事務局から説明を行った。

##### <改正内容>

田名地区自治会連合会の委員数を4人から5人とし、施行日を令和3年5月18日とする。

##### <意見等>

なし

##### <結果>

了承された。

#### (2) 役員選出

今年度の役員選出(案)について説明を行った。

##### <役員選出(案)>

(田名地区まちづくり会議会則第5条第2項)

役職名	氏 名	備 考
会 長	志村 勝美	田名地区自治会連合会会長

(田名地区まちづくり会議会則第7条)

副会長	田所 恒男	田名地区社会福祉協議会会長
副会長	木下 國博	田名地区青少年健全育成協議会会長
理 事	大谷 政道	田名公民館館長
理 事	江成 陽子	田名地区民生委員児童委員協議会会長
理 事	代田 修	田名地区自治会連合会副会長
理 事	山田 二郎	田名地区自治会連合会副会長

< 意見等 >

なし

< 結果 >

了承された。

( 3 ) 説明

・ 中央区基本計画について

令和 2 年 3 月に策定された中央区基本計画の概要について、区政策課職員が説明を行った。

< 意見等 >

資料にある S D G s とは何か。基本計画にある 6 つの「中央区の目指す姿・取組目標」とどう関係するのか。

S D G s という言葉をよく耳にはするが、具体的に分からない。ただ、この 4 文字を並べるのではなく、市として、もう少し市民に分かりやすい表現をしていくつもりはないのか。

本日、S D G s の内容についての説明は省略させていただくが、今後は、機会ごとに分かりやすく説明するよう努めていきたい。

S D G s は平等性を謳っていると思うが、そもそも共助的な姿勢が崩れているようなことが見受けられる。自治会活動においても同様であると思う。「皆のために頑張っていく」という姿勢がなければ、市のまちづくりはよくなっていかないと思う。

区民会議に出席したことがある。そこでは、聞こえの良い言葉があふれているように思ってしまった。「果たして自分はまちづくりに関わっているのか」と感じてしまうこともあった。市と一体となって、より良いまちにしていこうということは分かるが、「本当に進行しているのか」という疑問がある。体裁が綺麗なだけではないかと思う。

- ・ まちづくり会議について
- ・ 地域活性化事業交付金について
- ・ まちづくりを考える懇談会について

まちづくり会議、地域活性化事業交付金及びまちづくりを考える懇談会につ

いて、事務局より説明を行った。

<意見等>

なし

(4) 今年度のまちづくり会議のテーマと進め方について

今年度のまちづくり会議のテーマと進め方について、事務局からの説明の後、意見交換を行った。

<意見等>

前年度の「自治会加入促進」については、はっきりと結論が出ていないし、これからも強力に進めていかないと自治会会員の減少がさらに進んでしまう。どのようにすれば、自治会に加入してもらえるのか、活動に参加してもらえるのか、委員の知恵をお借りしたい。そういう意味では、今年も「自治会加入促進」について検討していくものと考えている。

最近では自治会加入促進と言っているが、逆に考えると自治会を辞める人も増えてきている。何が原因なのか、分析する必要があるだろう。新型コロナウイルス感染症によって、色々な活動が中止になっていることも影響しているのかもしれないが、それ以外の原因を徹底的に分析する必要がある。新たな世帯への加入促進は必要だが、一方で現在の自治会加入世帯の維持も考えていかないといけない。これらの分析や対策を検討するのが令和3年度かと思う。

また、さがみはらポイント制度について、モデル事業が令和3年3月に終了し、検証期間に入って、もう2か月も経過している。いつ結論が出るのか。せっかくモデル事業を行ったのに、2か月经っても結果が出ない。検証に時間をかけているようではいかなものかと思ってしまう。検証に時間を要することで、このモデル事業に対する地域住民の印象が薄れてしまう。市には早急に対処してもらいたい。

ポイント制度を地域活性化につなげていくためには、ポイント付与を柔軟に考えないといけない。地域には様々な活動があるため、地域の希望も考慮しながらポイント付与について検討していく必要があるだろう。今は既存のポイント制度に戻ってしまった。特に地域活動へのポイント付与については柔軟にしてもらわないと、この制度が単なるマイナンバーカードの普及促進策に留まってしまう。モデル事業を始めた目的である地域活性化にはつながらない。まちづくり会議としても、しっかりとモデル事業の結果を見て、再度、市に対して要望、提案していくことが必要であると思う。まちづくり会議の場で課題の整理等を議論できればと思う。

ポイント制度については、マイナンバーカードとは切り離して検討することも必要ではないか。例えば、地域活性化交付金を財源とし、田名地区でポイント付与対象事業を考えたりすることはできないか。この地区では、鼓笛隊が福祉施設や自治会のお祭りに赴いて演奏してくれている。色々協力してもらっている隊員やその保護者に対して活動ポイントを付与し、それら以外の活動にもポイント対象が広がれば良い。今後、まちづくり会議においても、モデル地区の検証や事業の内容を検討したい。

モデル事業で協力してもらった地域店舗の方々は「ポイントはどうなったの」と思ってしまう。早く検証結果を出してもらいたいし、検証に時間を要していると不信感を持たれてしまう。

青パトの活動ばかり着目されているが、他にも地域活動はたくさんあるのだから、そういった人や活動に対してもポイント付与の対象となるような制度になれば、地域の方々のやりがいにもなるし、喜ばれると思う。

モデル事業の検証に対する意見については、担当部局に伝えていく。

本日の意見を受けて、まちづくり会議として検証も行っていきたい。

< 結果 >

次回以降、モデル事業の検証を行う。

次回以降の開催予定については、次第の最後ページで確認してもらいたい。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の状況によって、時間変更や中止とする場合には役員会後（1週間前）に電話連絡する。

4 閉会（木下副会長）

以 上

## 令和3年度 第1回田名地区まちづくり会議委員名簿（敬称略）

令和3年5月18日

	団体名	役職	氏名	出欠
1	田名地区自治会連合会	会長	志村 勝美	
2		副会長	代田 修	
3		副会長	山田 二郎	
4		会計	高野 仁	
5		事務局長	花房 博文	
6	田名自治会連合婦人会	会長	外岩戸 満里子	
7		副会長	阿部 真美	
8	田名公民館	館長	大谷 政道	
9	田名地区社会福祉協議会	会長	田所 恒男	
10	田名地区民生委員児童委員協議会	会長	江成 陽子	
11		書記	首藤 幸治	
12	田名財産管理委員会	会長	田所 昌訓	
13	田名地区公共交通整備促進協議会	事務局長	鈴木 鐵蔵	
14	田名地区防犯協会	会計	篠崎 隆司	
15	田名地区青少年健全育成協議会	会長	木下 國博	
16	P T A 田名中学校区三校合同会議	代表（田名小学校 P T A 副会長）	永保 貴章	
17	田名地区老人クラブ連合会	会長	小島 昭二	
18	J A 相模原市田名支店運営委員会	市農協理事	田所 茂雄	
19	田名地区ボランティアグループ	代表（市食生活改善推進団体 わかな会田名地区）	浅見 泰子	
20	田名地域包括支援センター	センター長	矢口 君代	
21	有識者			

出席（ ） 18

欠席（ ） 2

合計 20